

～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと 里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

みもろつく鹿背山里山学校

里山遊びをしたことのない子ども達に自然の恵みを受けたり、自然の不思議を知ってもらいたいと始めた里山学校。作物の植付けや収穫、里山整備など今年度は10回のプログラムを準備していましたが、9月・10月に台風による荒天のため中止となりました。

9月の白菜と大根の植付け、10月の稲刈りは出来ませんでしたが、参加者に代わって鹿背山倶楽部のみなさんが作業を終えてくれました。

11月は、はさに架け天日で乾燥させた稲を足踏み脱穀機でモミと稲わらに分けました。



はさがけ



足踏み脱穀作業

併せて、6月にツルを挿したサツマイモの収穫と、鹿背山の特産品の柿の収穫を「鹿背山の柿を育てるネットワーク」の柿畑で体験しました。



サツマイモの収穫



富有柿の収穫

冬は生い茂っていた夏草が枯れ、蚊や蜂に刺される心配が少なくなることから山仕事に最適な季節です。里山学校の冬の活動は、マツタケ山の再生に取り組む団体の里山整備を体験したり、大野山へのハイキングをおこないます。

また、竹林整備として竹の伐採や通路整備をとおして、里山活動の必要性を感じたいと思います。



間伐木の片付け作業

生態系の多様性

生態系の多様性とは、いろいろなタイプの生態系がそれぞれの地域に形成されていることです。数千の島々からなり南北約3,000kmに及ぶ国土を有する日本にも、森林・湿原・河川・干潟・珊瑚礁など多様な生態系があります。

奥山 自然に対する人間の働きかけが小さい地域で、大型の哺乳類や猛禽類の生息地が含まれます。

里地里山 長い歴史の中で人間の働きかけを通じて特有の自然環境が形成された地域で、農地・ため池・草原やその周辺の林などが含まれます。

河川・湿原 魚類や水鳥をはじめ、多様な生きものの棲家になっています。河川は、上流・下流、森と海をつなぐ自然の回廊です。

沿岸・海洋 干潟・珊瑚礁・深海などさまざまな生態系があり、陸上の気候や生態系にも影響を与えています。

里山へGO！（里山活動に参加してみよう）

鹿背山で里山活動をしたいと思っても、木を切ったり、農作業をしたことがない人にはなかなか参加しづらいですね。

現在、鹿背山では9つの団体が、鹿背山城の景観を保全したり、里山資源の持続的な活用や特産の柿の生産技術を伝承しながら恵みを分け合ったり、放置水田を耕してカスミサンショウウオの居場所を整備するなどさまざまな活動が進められていますので、まずは活動を見学することからはじめてみませんか。気になる活動があれば、気軽に連絡ください。